



ヒートポンプデシカント方式による 調湿外気処理機

JIS B 8638 : 2020

令和 2 年 6 月 22 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 産業機械技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	山 田 陽 滋	名古屋大学
(委員)	井 上 謙	一般社団法人日本産業機械工業会
	梅 崎 重 夫	独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
	川 上 雅 由	日本内燃機関連合会
	齋 藤 明 徳	日本大学
	高 辻 成 次	一般社団法人日本航空宇宙工業会
	嶽 北 慎 子	一般財団法人日本規格協会
	田 中 文 基	北海道大学
	土 屋 光 由	一般社団法人日本機械工業連合会
	寺 田 進	株式会社神戸製鋼所
	平 岡 弘 之	中央大学
	藤 田 俊 弘	IDEC 株式会社
	増 井 慶次郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	松 尾 亜紀子	慶應義塾大学
	森 下 博 之	国土交通省総合政策局

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 2.6.22

官 報 掲 載 日：令和 2.6.22

原案作成協力者：一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：産業機械技術専門委員会 (委員長 山田 陽滋)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 調湿外気処理機の構成	4
5 調湿外気処理機の種類	5
6 性能	5
6.1 冷媒漏れ	5
6.2 定格風量	5
6.3 有効換気量及び有効換気量率	5
6.4 定格除湿冷房性能	5
6.5 定格加湿暖房性能	6
6.6 露付き	6
6.7 始動特性	6
6.8 電圧変動特性	6
6.9 温度上昇	6
6.10 絶縁特性	6
6.11 騒音性能	6
7 材料、構造及び安全性能	7
7.1 冷媒回路	7
7.2 冷媒及び冷凍機油	7
7.3 電気安全に関する材料、構造及び性能	7
7.4 排水確認	7
7.5 冷媒回収口	7
8 試験	7
8.1 冷媒漏れ試験	7
8.2 定格風量試験	7
8.3 有効換気量試験	7
8.4 定格除湿冷房性能試験	7
8.5 定格加湿暖房性能試験	7
8.6 露付き試験	7
8.7 始動試験	7
8.8 電圧変動試験	7
8.9 温度上昇試験	8
8.10 絶縁試験	8

	ページ
8.11 騒音試験	8
9 検査	8
9.1 形式検査	8
9.2 受渡検査	9
10 表示	9
10.1 製品表示	9
10.2 仕様書表示	9
附属書 A（規定）定格除湿冷房試験方法及び定格加湿暖房試験方法	11
附属書 B（規定）試験条件の許容差	15
解 説	17

まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

注記 工業標準化法に基づき行われた日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第9条により、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

白 紙

ヒートポンプデシカント方式による 調湿外気処理機

Humidity control outdoor air processing machines by heat pump desiccant system

序文

この規格は、ヒートポンプ技術とデシカント技術とを融合して、省エネルギー性及び室内の快適性を両立した、省エネ形空調システムに用いられる調湿外気処理機の規格である。

1 適用範囲

この規格は、主として業務用の建物に用いられるように設計・製作された第1種換気方式で、無給水、又は無給水かつ無排水の除湿機能及び加湿機能をもち、送風機を一つのきょう（筐）体に組み込んだ、定格風量が150 m³/h～2 000 m³/hのヒートポンプデシカント方式による調湿外気処理機（以下、調湿外気処理機という。）について規定する。

注記 給水を行わずに加湿する機能を“無給水加湿機能”，及び排水を行わずに除湿する機能を“無排水除湿機能”ともいう。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 8616 パッケージエアコンディショナ

JIS B 8620 小形冷凍装置の安全基準

JIS B 8628 全熱交換器

JIS B 8639 全熱交換器－風量，有効換気量，及び熱交換効率の測定方法

JIS C 9335-2-40 家庭用及びこれに類する電気機器の安全性－第2-40部：エアコンディショナ及び除湿機の個別要求事項

JIS K 2211 冷凍機油

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次によるほか、**JIS B 8616** 及び **JIS B 8628** による。

3.1 調湿方式及び構成に関する用語

3.1.1

デシカント

空気中の水分を吸収（吸着）したり，放出（脱着）したりすることで，湿度（空気中の水分）を調節す